

テーマ「感染症対策を踏まえた働き方改革」

視点1 行政との連携や働きかけ

- ・感染症対策を踏まえた働き方改革における人材の確保
例：学校サポーター（消毒）は県の事業が消滅しても市町村の事業として継続してほしい
- ・教育効果を上げるための、町の職員（支援員・指導員等）の増員
例：個別最的化を充当する特別支援教育支援員，ICT支援員，ティームティーチング，部活動指導員を大幅に増やす（感染症対策のためにもマンパワーが不可欠）
- ・学校施設も充実させて欲しい
例：トイレ，タブレット使用の安定的な通信環境，感染症対策を講じた行事の開催
- ・リモート授業（家庭との遠隔）を見据えた Wi-Fi 環境の整備
- ・部活動改革への取り組み（部活動指導員の確保や町主導での取り組みの促進）
例：令和5年度部活動改革に向けて，町担当部署の設置を要望したい

視点2 自校での取組

- ・部活動顧問の複数化
例：指導の分担、これに伴う会議の時間確保と事務仕事の充当
- ・臨時休業期間中の人流の大幅な抑制
例：在宅勤務の積極的な推進，行事の工夫改善（感染症対策、内容の精選）
- ・行事の削減と効率化
例：保護者参観の制限，体育祭等種目の簡略化による準備時間の削減）

視点3 次年度に取り組みたいテーマ

- ・部活動改革（部活動適正数，運営方法）
- ・行事の見直し（内容準備保護者対応，式等における来賓等来校者の精選）